

令和7年度 施政方針

2月25日令和7年第一回羽曳野市議会において令和7年度の施政方針を表明しました。今号では主な施策をご紹介します。

施政方針とは…

市長の市政運営に対する基本的な考え方や予算案及び主要な施策について述べたものです。

「羽曳野市！
どんどん良くなる羽曳野市！」

昨年7月の市長選挙におきまして『「羽曳野市の未来を創る！」みんなの想いが形になる どんどん良くなる羽曳野市！』というスローガンを掲げ、市民の皆様から、多くのご期待、ご支援を賜り、引き続き本市の未来を託していただいた使命の大きさと重責に身の引き締まる思いであります。

2期目の市政運営におきましては、市政を確実にアップデートすることができた1期目の成果の上に立ち、この間進めてきた市政運営の基本的な考えを継続・発展させつつ、これまで経験したことがない時代の変化に対応したまちづくりを進めるセカンドステージへと踏み出してまいります。

“まちづくりにゴールはありません”——

本市のこれからのまちづくりに向けたビジョンを明確にし、市民の皆様をはじめ、事業者、NPO、大学等、多様なまちづくりの主体とともに、地域や組織の枠を超えて協働・連携を図り、私の持てる力の全てを尽くし、新しい未来を切り拓いてまいります。さあ、いよいよ4月13日、2025年大阪・関西万博が開催します。

次代を担う子どもたちが、「いのち輝く未来社会」を体験し、想像を遥かに超えた驚きや発見を通じて、夢や希望を持ち、無限の可能性に満ちた未来に向かって、力強く成長していってもらえることを期待しています。

市民の皆様におかれましては、「羽曳野未来創生」に向け、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

羽曳野市長 山入端 創



「安全・安心で
いきいきとした
生活の実現」

01



災害対応力の強化に向けて、備蓄物資の確保や医療救護体制の充実をはじめ、ニーズに応じた避難所における受入れ体制の整備に取り組みます。

道路・橋梁については、適切な点検、修繕や更新により、安全で快適な交通環境を確保するとともに、新たな道路や歩行空間の整備に取り組み、交通の安全性と市民の利便性の向上を図ります。

上下水道については、強靱化や耐震化をはじめとした施設の計画的な整備や経営改善を行い、ハード・ソフトの両面から持続可能性を高めていきます。

地域共生社会の実現に向け、誰一人取り残さない包括的な支援体制の構築のために、重層的支援体制整備事業を本格的に実施するとともに、各種健診や介護予防の取り組みを通じて、主体的な健康づくりを促進します。

本年は太平洋戦争終戦から80年の節目の年であり、今を生きる我々が、改めて過去に目を向け、戦争の悲惨さと平和の重みを噛み締め、命の尊さについて考える機会を設けます。

【主な施策】

- はびきの埴生学園のプール跡地に**大型防災備蓄倉庫を設置**
- 羽曳野市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもと、**災害発生時に必要な資器材を整備、医薬品の備蓄**
- 恵我ノ荘駅前南側広場、市道羽曳が丘西65号線の整備推進**
- 西浦受水場の設備や機器等の更新
- 重層的支援体制整備事業を実施**
- 東園域において民間事業者による地域包括支援センターを開設**
- 加齢に伴い聴力が低下した低所得世帯の**高齢者に補聴器購入費用の一部を助成**。高齢者に**带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成**
- 終戦から80年の節目に**特別平和展を開催**



施政方針全文は
←コチラ

—問合せ—
政策企画部 秘書課

施政方針 3つの重点ポイント

「子どもの 笑顔あふれる 次世代育成」

02



子育てニーズに応じたきめ細やかな支援に取り組むとともに、幼児教育・保育においては、待機児童ゼロの継続を前提として、さらなる教育・保育環境の充実を図ります。

学校教育においては、きめ細やかな教育環境整備の推進や、子どもたちのICT活用能力等の向上を図るとともに、一定規模の集団確保に向けた公立諸学校の規模・配置の適正化への検討を進めます。

また、子ども・若者の可能性を広げる多様な学びの機会を提供します。

さらに、新たな学校給食センターの移転整備を推進するとともに、中学校給食の全員喫食を開始し、児童・生徒の健全な成長を支援します。

【主な施策】

- (仮称) 第3こども園整備工事推進。
- (仮称) 第4こども園の民営化を基本とした整備
- 保育園・認定こども園・公立諸学校の給食費にかかる食材費高騰分の公費支援を引き続き実施
- 2学期から中学校給食全員喫食を開始。第3子以降の給食費助成を半額から全額へと拡充
- 小学校におけるチーム担任制の実施校を拡大。
教科担任制の実施教科を拡充
- 児童・生徒1人1台整備しているタブレット端末を更新
- プログラミング教育を推進
- 学校生活における支援教育介助員を増員
- 中学校の美術室にエアコン設置
- 大阪・関西万博への招待事業にかかる交通費の全額を助成。子どもを対象とした万博への無料招待
- 雨天時でも遊ぶことができるキッズスペースをLICはびきのに設置。羽曳が丘東公園ボールパークの整備工事実施

「未来につなぐ 選ばれる羽曳野の 未来創生」

03



©KENGO KUMA & ASSOCIATES

市民一人ひとりのウェルビーイングの実現に向け、ハード・ソフトの両面から、今後10年のまちづくりの方向性を見定め、まちの将来をデザインしていきます。

国内外から多くの人が集まる大阪・関西万博のインパクトを最大限に活かすため、関係自治体や事業者と協力して万博会場において本市の魅力を効果的に発信します。さらに、万博来場者に本市へも足を運んでもらえるよう、大阪はびきの観光局をはじめとする関係機関と連携し、誘客イベントの実施や、観光コンテンツの整備・拡充を進めます。

情報発信体制を強化するとともに、外部から招聘した専門人材のノウハウを活用した戦略的な広報・プロモーションを展開します。

また、市民の利便性向上と行政運営効率化の両立をめざした行財政改革を推進していきます。

【主な施策】

- 大阪・関西万博において「地方創生SDGsフェス」に出展。「大阪ウィーク」に参加、まちの魅力を国内外へ発信
- 「伝える広報」から「伝わる広報」へと転換。
戦略的な広報・プロモーションを推進
- 利便性の高い窓口体制の検討、デジタル技術を活用した業務プロセスへの見直し、新庁舎におけるICT設計を実施
- 新庁舎整備実施設計および既存施設の解体工事を実施
- 新たな人権文化センターの供用開始、市民交流の促進
- 第7次総合基本計画の策定・都市計画マスタープランの改定
- 施設等の最適配置をめざし、公共施設等総合管理計画を改定